

RAKUSAI

PUB

PUBLIC

LAB

LABORATORY

洛西パブラボ

DAYS!

理想の暮らしを、日常へ

DAY1 ➡ 10/11 土

DAY2 ➡ 10/12 日

DAY3 ➡ 10/13 祝月

京都市では、令和6年度から、魅力的な洛西地域を市民のみなさんと一緒に考え、作り上げるワークショップ「RAKUSAI Pub.Lab. (洛西パブラボ)」を進めています。今年度は10年後の理想の暮らし、公共空間の使い方につながる取組を「日常に馴染ませる」ための社会実験として、「RAKUSAI Pub. Lab. Days! (洛西パブラボデイズ!)」を3日間開催し、延べ100名の市民が参加しました。このレポートでは写真を中心に当日の様子を紹介します。

会場：洛西タウンセンター広場ほか

DAY1 **10/11** 土

チワリニック in タケスタジアム

洛西の竹を生垣風に組み立て、枝葉のついた竹を飾ったしつらえの中で、竹でつくったモルックを楽しみました。竹材を組み立てるのは、丸くて滑る、バランスがとりにくいなど、作業の難しさも感じましたが、伐採してすぐの竹の香りに触れながら、心地よい汗を流しました。

参加者の声：「話しやすくて子どもも楽しめました 20代女性」

「子どもにはモルックが少し難しかったです 30代女性」



段ボールでつくったピザ窯を使い、餃子の皮で手軽につくれるピザを焼きました。香ばしい香りに誘われて参加者が集まりました。また、メンバーがこの日のために育てたバジルをトッピングに添えて、プログラムを楽しみました。

参加者の声：「すぐに焼けてびっくりした 30代女性」

「ピザ最高！ 60代男性」

ストリート キッチン



DAY2 **10/12** 日

まちを 面白がるツアー

パーゴラ広場から境谷商店街周辺の小道や公園を散策しながら、まちなかの公共空間で気になった場所や新しく発見したことをメモして巡りました。散策後、これからまちなかでやってみたいアイデアを未来日記にして発表し、参加者同士で共有しあいました。

参加者の声：「ゆっくり歩くと気づくことがあった 20 代女性」

「みんなでワイワイ楽しみながら歩けた 20 代女性」



DAY3 **10/13** 祝月

らくさいつこ ちよつと よっていき

子どもたちが集まれる拠点をつくろうと、映像上映や洛西の見どころマップの掲示を行いました。大人にはコーヒーをふるまいながら、洛西ニュータウンの歩みを記録した ZTV 提供の映像を上映。子ども向けの映像も流し、世代を超えて楽しめるように工夫しました。

参加者の声：「洛西のはじまりを知ることができた 70 代男性」



なんでも やってみ隊 @らくさい

子どもたちのタウンセンターで「やってみたい!」を実現する企画。今回は小畑川での葉っぱリレーをしたり、タウンセンター前に人工芝を引いてみんなでピタゴラスイッチ風の装置づくりをしました。また、通りすがりのこどもたちも参加した〇×クイズは大盛り上がりでした。

参加者の声:「子どもがすぐに打ち解けて楽しく遊んでいました 40代女性」
「途中雨がふってきたので屋根があるとよかった 30代男性」



当日飛び込みの参加者も含めて小学生（高学年）から大学生まで9名が参加しました。自己紹介や、お菓子についてのミニゲームなどをしたあと、どんな場所が洛西にあったら居心地がいいかを話し合いました。今後、生まれたアイデアの実現にむけて、引き続き話し合いを進める予定です。

参加者の声:「あったかい雰囲気楽しかった。夢に近づけました。 10代女性」
「企画から運営までやりたい 10代女性」

ゆるっとしゃべり場
まちトーク!

